様式第２号（第３条、第７条及び第８条関係）

# 事業実績書

平成 31 年 3 月 31 日

団体名　　黒谷和紙協同組合

| | |
|---|---|
| 事業の目的<br>（何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。） | １５００年の日本の紙文化を守るとともに、黒谷和紙の伝統産業の技術継承発展のため。 |
| 事業の名称 | 伝統産業産地振興事業 |
| 事業費<br>（市補助金） | 3,773,014 円<br>（　2,144,000 円） |
| 補助金の使途<br>（団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。） | 黒谷和紙の技術の継承発展、後継者技術者の育成<br>黒谷和紙の広報・ＰＲ活動を担える人材の確保<br>施設及び用具の修理補修 |
| 事業実施期日 | 平成３０年４月１日　～平成３１年３月３１日 |
| 事業実施場所 | 綾部市内 |
| 事業の概要<br>（事業の実施方法、内容について記入してください。） | 紙文化を守るとともに、黒谷和紙の継承発展に努力し、技術者・後継者の育成に努める。<br>広報・ＰＲ・交流イベントなどの運営、販売促進活動などを担える人材を確保し配置する。<br>紙漉き実演、体験、地域交流型イベントの開催や新商品の研究を行う。<br>老朽化した施設及び用具の修理補修を行う。 |
| 補助金の効果（成果）<br>（計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。） | 今年度は、平成30年7月豪雨で被災し工房や施設に甚大な被害を受けることになり生産施設の復旧が最優先の年度となった。<br>しかしながら、新しく広報、PR 活動を担い、IT に強い人材を迎えることによってネットショップの開設、PR 用スライドショーの作成、更に英語対応が可能な人材の配置により外国人観光客への接客や、英文メールの対応を行うことができた。 |

| | |
|---|---|
| | また、多種多様な商品を扱うため、以前より商品管理システムの構築が必要とされていたが、その基本となるシステムを作り上げることができた。<br>さらに和紙会館展示場の展示物の整備を行い、より見ごたえのある展示場となった。<br>研修生を黒谷町に迎え入れるため、村と組合との調整を行い、今年夏ごろには黒谷町に転居する準備が整った。<br>また、工房移転の準備期間として、黒谷町内での工房候補地の選定を行い、次年度以降の取組に向けた下準備を行うことができた。<br>以前より「和紙会館が分かりづらい」とお客様よりご指摘をいただいていたため、目立つ位置に看板を設置することによって、問題を解決することができた。 |

様式第４号（第３条及び第７条関係）

# 収支計算書

平成 31 年 3 月 31 日

団体名　　黒谷和紙協同組合

（単位　円）

| | 区　分 | 予算額 | 収入済額 | 明　細 |
|---|---|---|---|---|
| 収入の部 | 市補助金 | 2,144,000 | 2,144,000 | 綾部市より |
| | 賦課金 | 192,000 | 216,000 | |
| | 産地振興事業（自己資金） | 1,630,000 | 946,749 | |
| | 雑収入 | 334,000 | 226,265 | |
| | 綾部商工会議所補助金 | 0 | 240,000 | |
| | 合　計 | 4,300,000 | 3,773,014 | |
| | 区　分 | 予算額 | 支出済額 | 明　細 |
| 支出の部 | 人件費 | 2,100,000 | 1,881,559 | 振興事業担当員設置出張旅費　他 |
| | 業務費 | 880,000 | 447,284 | ＰＲイベント等開催チラシ作成　他 |
| | 研究費 | 400,000 | 88,320 | 研究開発用材料　他 |
| | 施設費 | 900,000 | 1,355,851 | 施設、用具修理費 |
| | 雑費 | 20,000 | 0 | |
| | 合　計 | 4,300,000 | 3,773,014 | |
| 差　引 | | 0 | 0 | |